

Q10. あなたのお宅の世帯全体の平成 22 (2010) 年の税込み年間総収入は、ボーナスを含めてどのくらいになりますか。(学生の方はご実家の収入をお答えください。)以下から最も近いものを 1 つ選んで回答用紙の欄にご記入ください。

7. 100万円未満
- イ. 100～200万円未満
- ウ. 200～400万円未満
- エ. 400～600万円未満
- オ. 600～800万円未満
- カ. 800～1,000万円未満
- キ. 1,000～1,200万円未満
- ク. 1,200～1,400万円未満
- ケ. 1,400～1,600万円未満
- コ. 1,600～1,800万円未満
- ク. 1,800～2,000万円未満
- シ. 2,000万円以上

Q11. あなたの現在の生活水準ほどの程度だとお考えですか。「もっとも豊か」を 10 点、「もっとも貧しい」を 0 点として、あなたの生活水準は何点くらいになるとお考えですか。

_____点

Q12. あなたの現在の健康状態ほどの程度だとお考えですか。「まったく健康である」を 10 点、「とても良くない」を 0 点として、あなたの健康状態は何点くらいになるとお考えですか。

_____点

Q13. あなたは現在、定期的に医療機関にかかっていますか？

1. はい
2. いいえ

Q14. あなたは、現在の程度幸福だと思いますか。「とても幸せである」を 10 点、「まったく幸せではない」を 0 点として、あなたの幸せの程度は何点くらいになるとお考えですか。

_____点

Q15. あなたは、自身の人生の方向を変えてしまおうような重要な決定をするだけの力があると思いますか？ 1 を「変えることはまったくできない」、5 を「完全にコントロールできる」とした場合、5 点のうち何点だと思いますか？

- 1点. 変えることはまったくできない
- 2点. 変えることはほとんどできない
- 3点. どちらともいえない
- 4点. 変えることはほとんどできる
- 5点. 変えることは完全にできる

2. つぎに、あなたの所属している集団(グループ・団体等)についてお答え下さい。

Q16. あなたがご家族のどなたかが加わっているグループ、組織、ネットワーク、団体などについてうかがいます。公的な団体にかぎらず、定期的に一緒に何かがをしたり話をするような集まりでも構いません。あなたやご家族はそういった団体にいくつ入っていますか？ _____つ入っている

Q17. そのうちで、あなたやご家族にとってもっとも重要なものは何ですか？ _____である

Q18. その団体の仲間のうちで、多党派となっている人たちは次のどの点が同じ人たちでしょうか？ 回答用紙の欄に当てはまる数字をご記入下さい。

a. 信仰	1) はい
	2) いいえ
b. 性別	1) はい
	2) いいえ
c. 国籍や民族など	1) はい
	2) いいえ

Q19. そのメンバーの多くの共通項は？ 回答用紙の欄に当てはまる数字をご記入下さい。

a. 職業	1) はい
	2) いいえ
b. 教育歴や水準	1) はい
	2) いいえ

Q20. その団体は市外の団体と一緒に活動したり交流することはありますか？

1. いいえ
2. はい、ときどきそうです
3. はい、よくそうです

Q21. 最近の、「親友」の数は、おおよそ何人でしょうか？ ここで親友とは、一緒に過ごす時間を、個人的なことを打ち明けられたり、助けを求められることのできる人たちのことを指します。

_____人

Q22. もしもあなたに突然、ちょっととしたお金（給料の1週間分くらい）を借りる必要ができたとしたら、家族や親族以外に、そのお金を進んで提供してくれるような人はどなたかいますか？

1. 必ずいると思う
2. たぶんいると思う
3. わからない
4. たぶんいないと思う
5. 絶対にいないと思う

Q23. 一般論として、多くの人は信用できるものだと思いますか？ それとも他人と付き合う際にはいくら慎重にしてもしすぎということはないと思いますか？

1. 人は信用できるものである
2. いくら慎重にしてもしすぎということはない

Q24. 一般論として、次の文章に書かれたことには賛成されますか？

a. この市に住む人たちの多くは、私に助けを求めれば進んで助けてくれると思う

1. まったくそう思う
2. ややそう思う
3. どちらともいえない
4. ややそうは思わない
5. まったくそうは思わない

b. この市では、警戒していないと誰かが私に付け込もうとする

1. まったくそう思う
2. ややそう思う
3. どちらともいえない
4. ややそうは思わない
5. まったくそうは思わない

Q25. あなたは、次の人物をどの程度信用していますか？

a. 市役所の職員	<ol style="list-style-type: none"> 1) とても信用している 2) かなり信用している 3) どちらともいえない 4) 少しだけ信用している 5) ほんの少しだけ信用している
b. 国の職員	<ol style="list-style-type: none"> 1) とても信用している 2) かなり信用している 3) どちらともいえない 4) 少しだけ信用している 5) ほんの少しだけ信用している

Q26. あなたが、過去1年の間に、あなた個人の大切なことを相談した人を5人まで思い出してください。5人より少なかった場合は、すべての方についてお答えください。

Aさん, Bさん, Cさん, Dさん, Eさんとして質問します。

それでは、AさんからEさんまでの5人（5人より少なかった場合は、すべての方）についてうかがいます。

回答用紙は以下のようになっています。回答用紙の各欄の当てはまるカナ、アルファベットに○をつけてください。

人物	1) どのような人か？	2) 学歴	3) 会うか？	4) 知り合いか？
A	アイウエオカキククココキシ	アイウエオカキククココキシ	アイウエオ	B C D E
B	アイウエオカキククココキシ	アイウエオカキククココキシ	アイウエオ	A C D E
C	アイウエオカキククココキシ	アイウエオカキククココキシ	アイウエオ	A B D E
D	アイウエオカキククココキシ	アイウエオカキククココキシ	アイウエオ	A B C E
E	アイウエオカキククココキシ	アイウエオカキククココキシ	アイウエオ	A B C D

1) その人は、あなたから見てどのような人ですか？ AさんからEさんまでの5人（5人より少なかった場合は、すべての方）についてお答えください。

7. 配偶者
- イ. 親
- ウ. 兄弟姉妹
- エ. 子ども
- オ. その他の血縁者
- カ. 同じ職場の人
- キ. Q17.でお答えになった団体のメンバー
- ク. キ以外の団体のメンバー
- ケ. 隣近所の人
- コ. 友人
- ク. 専門的なアドバイザー
- シ. その他

2) その人の学歴をご存知ですか？ AさんからEさんまでの5人(5人より少なかった場合は、すべての方)についてお答えください。

- 7. 小中学校 卒業 (尋常小学校、高等小学校を含む)
- イ. 高等学校 中退 (旧制中学校、女学校、実業学校、師範学校を含む)
- ウ. 高等学校 卒業 (旧制中学校、女学校、実業学校、師範学校を含む) (卒業見込みを含む)
- エ. 短期大学 中退 (高等専修を含む)
- オ. 短期大学 卒業 (高等専修を含む) (卒業見込みを含む)
- カ. 大学 中退 (旧制高校、旧制高等専門学校を含む)
- キ. 大学 卒業 (旧制高校、旧制高等専門学校を含む) (卒業見込みを含む)
- ク. 大学院修士課程 中退
- ケ. 大学院修士課程 修了 (卒業見込みを含む)
- コ. 大学院博士課程 中退
- ク. 大学院博士課程 修了 (卒業見込みを含む)
- シ. わからない

3) その人とはふだんどの程度お会いになりますか？ AさんからEさんまでの5人(5人より少なかった場合は、すべての方)についてお答えください。

- 7. ほとんど毎日
- イ. 少なくとも週に一回
- ウ. 少なくとも月に一回
- エ. 一月に一回以下
- オ. わからない

4) その人は、その他の4人と知り合いですか？ 知り合いの人について、○を付けてください。AさんからEさんまでの5人(5人より少なかった場合は、すべての方)についてお答えください。

- 3. あなたが現在お住まいの三鷹市についてうかがいます。
Q27. あなたはこの1年くらいの間に、市役所の本庁へ行ったりすることがありますか？
1. はい (→Q28へお進み下さい)
2. いいえ

Q28. あなたはこの1年間に何回市役所へ行きましたか？
7. ____回くらい (→Q27の欄に1とご記入の上、数字をこの欄にご記入下さい)
イ. おぼえていない

Q29. あなたのご家庭では現在お住まいの三鷹市が実施する(窓口事務の取り扱いを含む)行政サービスについて、この1年間に次のうちどれを利用しましたか？ 利用したものをすべてお選び下さい。回答用紙の欄にカナを直接ご記入下さい。

- 7. ごみ収集
- イ. 国民健康保険
- ウ. 国民年金
- エ. 各種障害者手帳
- オ. 保育(保育所)
- カ. 教育(小中学校)
- キ. こども手当
- ク. 健康相談(保健センター)
- ケ. 心配ごとの相談(市役所内の相談情報センター)
- コ. 介護の相談(社会福祉協議会)
- ク. その他() (→Q29の右端の欄に具体的にご記入下さい)
- シ. 利用していない

Q30. Q29のうち、もっとも利用したものを5つを選び、それぞれについて、どの程度満足したかお答え下さい。「とても満足している」を10点、「まったく満足していない」を0点として、あなたの満足度は何点くらいになると思いますか。回答用紙のサービスに○をつけて点数をご記入下さい。

サービス	満足度
アイウエオカキククコクシ	点
アイウエオカキククコクシ	点
アイウエオカキククコクシ	点
アイウエオカキククコクシ	点
アイウエオカキククコクシ	点

Q31. あなたが現在お住まいの三鷹市でこの1年間に開催された次の催し物(大会、イベント等)に参加されましたか？ また、その催し物には、Q26.でお答えいただいた、「過去1年の間に、あなた個人の大切なことを相談した人」は参加していませんか？ 当てはまる人すべてをお選び下さい。回答用紙に参加の有無を、○をつけてお答え下さい。

催し物	あなたは参加されましたか？	Q26.でお答えになった方のうち、参加した方
ア 市民文化祭	1. した 2. していない	A B C D E
イ 市民駅伝大会	1. した 2. していない	A B C D E
ウ 八幡神社例大祭	1. した 2. していない	A B C D E
エ まるごと夏まつり	1. した 2. していない	A B C D E
オ 三鷹阿波おどり	1. した 2. していない	A B C D E

Q32. この1年間で、あなたかご家族のどなたかは、何か地域のためになる活動をする目的で住民が集まるような場に参加しましたか？

1. はい (→回答用紙の欄に1とご記入後、Q33.へお進み下さい)
2. いいえ (→回答用紙の欄に2とご記入後、Q35.へお進み下さい)

Q33. Q32.で「はい」と答えた方にうかがいます。それはこの1年間で何回でしたか？
_____回

Q34. Q32.で「はい」と答えた方にうかがいます。その場には、Q26.でお答えいただいた、「過去1年の間に、あなた個人の大切なことを相談した人」は参加していましたか？ 当てはまる人すべてをお選び下さい。

回答用紙のABCDEのうち当てはまる人のアルファベットに○をつけてください。

Q35. もし、この地域で大地震による災害のような事態が起きたとしたら、地域の人たちは問題を解決しようとして協力すると思いますか？

1. とてもそう思う
2. ある程度そう思う
3. どちらともいえない
4. ある程度そうは思わない
5. まったくそうは思わない

Q36. 地域で計画されていることが、もしもあなた自身の利益にはならなくても多くの市民の利益になるとしたら、その計画のためにあなた自身の時間やお金を提供しますか？ 回答用紙の欄にそれぞれ当てはまる数字をご記入下さい。

a.時間	1. 提供しないと思う 2. 提供すると思う
b.お金	1. 提供しないと思う 2. 提供すると思う

Q37. この1ヶ月間に、あなたは通話のために電話(携帯電話を含む)を何回ぐらい使いましたか？ 回答用紙の欄に直接数字をご記入下さい。(およびその数字で結構です)

_____回

Q38. 雇用問題、保健医療、農政など、政府が計画していることについて、あなたはどこから情報を得ていますか？ 主なものを3つまで選んでください。

1. 親戚、友人、近所の人
2. 地域の掲示板
3. 地域の市場や商店街
4. タウン誌、地域の新聞
5. 全国紙(新聞)
6. ラジオ
7. テレビ
8. グループや団体
9. 仕事仲間
10. 政治的な仲間
11. 地域の代表者(自治会長など)
12. 政府機関
13. 非政府組織(NGO)、非営利団体(NPO)
14. インターネット

Q39. 同じ市に暮らす人々の間にもさまざまな違いがあるものです。たとえば、経済状態、社会的な地位、国籍などです。信仰、政治的思想、年齢、性別でも違いがあるでしょう。あなたがお住まいの市では、そんな違いはどの程度特徴があると思いますか？ 1点を「違いはとて大まかい」、5点を「違いはとて小さい」としたとき6点のうち何点だと感じますか？

- 1点. 違いはとて大まかい
- 2点. 違いは大きい
- 3点. どちらともいえない
- 4点. 違いは小さい
- 5点. 違いはとて小さい

Q40. この違いのために何か問題が起きていますか？

1. はい (→回答用紙の欄に1とご記入後、Q41., Q42.へお進み下さい)
2. いいえ (→回答用紙の欄に2とご記入後、Q41., Q42.へお進み下さい)

Q41. よく問題を起こしているのは、次のうちのどの「違い」でしょうか？ 2 つまで選んでください。

1. 教育の程度の違い
2. 土地の所有の違い
3. 経済状態、動産の所有の違い
4. 社会的な地位の違い
5. 男性と女性の違い
6. 若者と年配層の世代の違い
7. 元から住んでいた人と新たに住み始めた人の違い
8. 支持する政党の違い
9. 宗教的な信仰の違い
10. 国籍や民族などの違い
11. そのほかの違い

Q42. それらの問題は暴力を振るうような事態にまで至りましたか？

1. はい
2. いいえ

Q43. この1ヶ月の間に、あなたは誰か家族以外の人と、家か公共の場で飲食を共にしたことがありますか？

1. はい 何回ですか？ ___回 (→回答用紙に1と数値をご記入後、Q44.へお進み下さい)
2. いいえ (→回答用紙の欄に2とご記入後、Q45.へお進み下さい)

Q44. Q43.で1.「はい」を選んだ方にかがいます。その相手とはどんな方でしたか？ a.からd.のそれぞれについて当てはまる数字を回答用紙の欄にご記入下さい。

a.国籍や民族などの異なる人	1) はい 2) いいえ
b.経済的な状態の異なる人	1) はい 2) いいえ
c.社会的な地位の異なる人	1) はい 2) いいえ
d.信仰の異なる人	1) はい 2) いいえ

Q45. 全体的に見て、あなたが一人で家にいるとき、犯罪からはどの程度安全だと思いますか？

1. とても安全である
2. かなり安全である
3. どちらともいえない
4. かなり安全ではない
5. とても安全ではない

Q46. この1年間に、この市に暮らす住民は、地域社会の利益になるような公共の人物を決めるようなことを何回ぐら一緒にを行いましたか？ (例：市長や市議会議員の選挙、自治会長を決める選挙や話し合いなど)

1. 一度もしなかった
2. 1度だけした
3. 少しだけした (2~4回)
4. 何回もした (5回以上)

Q47. さまざまな事情から、投票所などに行つて投票をすることが難しいという人は多いです。あなたはさきの選挙 (平成22年度参議院議員選挙) の投票に行きましたか？

1. はい
2. いいえ

Q48. あなたが現在お住まいの三鷹市について、より暮らしやすい街にするために必要と思われることをお教え下さい (自由記述)

ありがとうございました。質問は以上です。ご回答にご記入漏れや誤りがないかご確認下さい。宜しければ回答用紙のみを同封の返信用封筒にてご返送ください。(切手は不要です)

鹿嶋市にお住まいの皆様

平成 23 年 2 月 10 日



独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所 社会精神保健研究部
家族・地域研究室

堀口 寿広

「地域のひとと人のつながりに関する意識調査」ご回答ご協力をお願い

拝啓

歳暮の候、時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて

子ども、高齢者、障害のある方など、地域にはさまざまな人が暮らしています。すべての人にとっても暮らしやすい地域社会が求められますが、地域づくりの方法は画一的なものではなく、それぞれの地域の特性を踏まえたものである必要があります。地域の特性を知るための方法について研究が進められています。その一として、地域に暮らす人と人のつながりに価値があると考えると、つながりがどのようなになっているのかを調べる方法があります。

そこで、このたび、鹿嶋市にお住まいの皆様方に、ふだんの生活において人と人のつながりがどのようになっているかご回答をいただき、鹿嶋市がどのような地域なのかを知ることを目的としたアンケート調査を企画いたしました。

つきましては、時節柄ご多忙のところ誠に恐れ入りますが、本調査の趣旨をご理解賜り、ご回答を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

調査の名称：「地域のひとと人のつながりに関する意識調査」

調査の根拠：平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業（身体・知的等障害分野））
「共生社会を実現するための地域づくりを促進する要因の解明」（研究代表者：堀口寿広）

の一環として実施

実施主体：堀口 寿広（独立行政法人国立精神・神経医療研究センター）

調査対象：鹿嶋市にお住まいの方、1,000 名

対象者を選定した方法：平成 22 年 2 月 23 日現在、鹿嶋市にお住まいの方について、住民基本台帳をもとに無作為に抽出いたしました。皆様について、ご住所およびお名前以外の情報は一切利用しておりません。

調査期間：平成 23 年 2 月 1 日～平成 23 年 2 月 25 日

個人情報保護について：つぎのページをご覧ください。

以上

「地域のひとと人のつながりに関する意識調査」について

ご回答の前に、本状とともにご回答をお願いする調査用紙をご一読下さい。お読みいただき、本調査のご趣旨についてご理解いただけましたら、ご回答をお願い申し上げます。

1 実施の意義と目的について

地域の特性を表す指標を見つけるため、地域に暮らす人と人とのネットワーク（つながり）に関する調査を行います。

2 実施内容と方法について

このアンケートへのご回答は任意です。（アンケートへのご回答は義務ではありません）

住民基本台帳から無作為に抽出した方にアンケートを郵送にてお届けし、調査へのご協力にご同意の得られた方より、郵送で無記名のご回答を収集します。

ご回答は数値の情報として扱い、統計解析により全体の傾向を見るために使用いたします。

3 実施にあたっての危険性、不利益について

市民の皆様には、アンケートへご回答を頂く以外に、この調査のために特別に行われるははありません。調査にご同意いただけなかった場合、ご回答をいただかなかった場合であっても、危険性や不利益は伴いません。また、ご回答の内容によって、皆様方にご迷惑をおかけすること、不利益が生じることは一切ございません。

4 費用

かかりません。

5 実施結果の使われ方

ご回答が集まり分析の結果がまとまりましたら、別途ご案内のとおり印刷した報告書を市図書館等へ寄贈するほか、「厚生労働科学研究データベース」ホームページ <http://mhlw.grants.nih.gov/research/>にて結果を公表します。ホームページでは、概要のご案内に加えて、報告書の全文をどなたでも自由にご覧いただけます（平成 23 年 5 月以降）。

6 個人情報の保護

ご回答いただく内容には、ご回答下さった方個人の住所、お名前を含んでおりません。ご回答下さった方が特定されることはありません。

ご回答に当たり、皆様方の個人および生活に関する情報をご記入いただく箇所がございますが、このアンケートは鹿嶋市内にお住まいの方をもとに地域の状況を把握するために実施するものです。全体の傾向として統計的に分析し、鹿嶋市にお住まいの皆様がどのような方であるのかを通して、鹿嶋

市がどのような地域であるのかとして結果をまとめます。

ご回答用紙および返信用の封筒へはご住所やお名前など、皆様方について知ることのできる情報を書かずにお返し下さい。

この調査は責任者個人が実施するものであり、鹿嶋市が実施するものではありません。したがって、皆様方からいただいた個別のご回答をその他の情報(国、茨城県、鹿嶋市)が保管している情報と照らし合わせることはいたしません。

ご回答の内容について、第三者からの求めにより開示することはいたしません。当方では本依頼状の発送後にご回答をお願いした方に関する情報を完全に破壊しており、依頼した方を特定できる情報を一切保有しておりません。ご回答下さった方ご本人であることを確認できませんので、皆様方からいただいたご回答の内容についてのお問い合わせにはお答えできませんので予めご了承下さい。

結果のまとめを学術集金および学術専門誌にて報告する場合、特定のご回答を単独で取り上げること、個別のご回答どうしを比較することはいいたしません。

回答用紙は研究事業の終了後、速やかに、個人情報保護を保護できる方法にて廃棄いたします。(シュレッダーによる裁断、もしくは梱包した状態で専門業者に委託して溶解を予定)なお、当独立法人の業務方法書、個人情報保護規程等の概要につきましては、ホームページにてご案内しておりますので、<http://www.ncnp.go.jp/guide/about.html> をご覧ください。

7 調査についてご不明な点がある場合、個人情報の取扱について苦情がある場合のお申出先

〒187-8553 東京都小平市小川東町 4-1-1
独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 社会精神保健研究部
家族・地域研究室 (調査実施責任者)：堀江 崇広

不在時は留守番電話が対応いたします。折り返しご連絡申し上げます。ファクシミリ、電子メールをあわせてご活用下さい。

ご質問について(Q&A)

アンケート調査についてご不明な点がございましたら、下記をご参考になさって下さい。

Q 1. この調査は鹿嶋市が実施するものか？

A 1. いいえ、この調査は、研究代表者が実施するものです。鹿嶋市が実施するものではなく、責任は鹿嶋市にはございません。したがって、調査の実施の方法や質問項目に関するお問い合わせは、ご回答のご記入方法についてのおたずねは、鹿嶋市ではなくお問合せ先(前ページ末尾に記載)にいただきますようお願い申し上げます。

Q 2. 「共生社会」とは何か？

A 2. 「共生社会」とは、

経済成長も社会の安定も人々の力に依存します。

少子・高齢化やライフスタイルの多様化が進む現在、

- ・ 国民一人ひとりが豊かな人間性を育み生き力を身に付けていくとともに、
- ・ 国民皆子どもや若者を育成・支援し、
- ・ 年齢や障害の有無等にかかわらず安全に安心して暮らせる、

そのような社会を「共生社会」と呼びます。

(内閣府ホームページ <http://www8.cao.go.jp/souki/index.html> より引用し改変)

「共生社会」の実現を目指した取り組みとは、従来の障害者施策にとどまらず、少子化対策、高齢社会対策、犯罪被害者等対策、自殺対策など、さまざまな領域にわたり現代のわが国に存在する喫緊の課題を広く含む概念をさします。

Q 3. 「厚生労働科学研究費補助金事業」とはどのような事業か？

A 3. 適切な科学的根拠に立脚した行政施策を行うことを目的として、厚生労働省が、所管の国立試験研究機関等において実施する研究事業です。詳細は、厚生労働省ホームページ <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkyuujigyou/index.html> をご覧ください。

本研究事業では、研究の実施については研究代表者が責任を持って実施することとされており、今回の調査に関するお問い合わせ、ご意見等は、研究代表者へお寄せいただきますようお願い申し上げます。

Q 4. この調査の目的は何か？ 調査によってわかるとは何か？

A 4. 「共生社会」を実現するためには、制度の創設や関連施設等の整備にとどまらず、官民を問わず地域づくりのさまざまな取り組みが必要になると考えられます。このとき、実施する取り組みが地域の特性を踏まえたものであることは、取り組みの成果に関連すると考えられます。そこで、今回の調査は、地域の特性を把握することを目的としております。お寄せいただいたご回答をもとに、地域に暮らす人々の人となりのつながりの様子を調べます。各地で行われている創意工夫について実践例を収集し、「共生社会」をめざした地域づくりにおいて地域特性を踏まえた取り組みのあり方を明らかにします。

Q 5. なぜアンケートが自宅に届いたのか？ なぜ私が選ばれたのか？ アンケートの送り先をどのようにして選んだのか？

A 5. 住民基本台帳の閲覧について市の定める方法に従って申し出を行い、閲覧の承認を受けて鹿嶋市にお住まいのすべての方の中から無作為に選んだ方のご住所とご氏名を転記して発送先として利用いたしました。市内各地域の居住者数をもとに、特定の地域に偏ることのないよう構成比率を考慮してあります。

Q 6. なぜ、鹿嶋市で調査を実施するのか？

A 6. 鹿嶋市は、長い歴史と伝統を有する街であるとともに、都心部との活発な交流を有し工業都市として発展してきた街という顔をあわせ持っています。サッカーを通じて地域振興の実績は全国的に知られており、調査によって地域づくりにおける人と人のつながりの重要性を明らかにすることが期待できます。

Q 7. アンケートへ回答することに同意ができないの何が？

A 7. 個々の質問に対するご回答の可否についてのご判断はお任せいたします。この調査へのご協力ご回答は任意です。すべての質問または一部の質問にご回答いただかないことで、不利益を受けることは一切ございません。

Q 8. 回答者個人についての質問（年齢、職業、家族構成、収入など）があるが、回答することに同意ができないの何が？ 何のために質問しているのか知りたいの何が？

A 8. 人と人のつながりについて調べるときに、ご回答下さった方がどのような方なのかを知ることは、つながりの特徴をより詳しく知るために必要です。たとえば、ある特性（年齢層、性別、職業など）を持った方には、他の方たちから見ると特徴的なつながりがあるかもしれません。なお、個々の質問に対してご回答なさるかどうかのご判断はお任せいたします。この調査へのご協力ご回答は任意です。すべての質問または一部の質問にご回答いただかないことで、不利益を受けることは一切ございません。

Q 9. 回答は回答用紙への手書きで記入しなければならぬか？ 回答用紙をファイルしてほしいの何が？

A 9. ご回答のご記入にご活用いただけよう、ワードの文書ファイルの用意も致しておりますので、ご遠慮なくお申し付けください。もちろん、ご回答のご送付に当たりファイル済みまたは電子メールへの添付などのご返送も可能です。

Q 10. 質問の中に、意味のわからない言葉があるの何が？

A 10. 説明不足で申し訳ございません。質問文にご不明な言葉や言い回しがございましたらご遠慮なくおたずね下さい。ご回答の方法につきまして、ご不明な点がございましたら同様にどうぞおたずね下さい。

Q 11. 回答用紙の記入の方法がわからないの何が？

A 11. 説明不足で申し訳ございません。質問の番号と記入欄の番号とを揃えてありますので、

それぞれ当てはまる枠の中にご回答をご記入下さい。ご記入の際にご使用いただく筆記用具の指定などはございません（鉛筆でもボールペンでも結構です）。ご不明な点がございましたらご遠慮なくおたずね下さい。

Q 12. 他人はどの程度調査に協力しているのか？ 他人の状況に合わせたい。これまでに回答はどれくらいの数が返されてきているのか？

A 12. 申し訳ございません。ご回答のご返送をいただいた日から当方にて確認するまでに時間差がございますので、ご回答の状況について正確な数字をお答えすることができません。

Q 13. どの程度回答するべきか検討したいので他人の記入した回答を参考にしたいのだが？

A 13. 申し訳ございません。いただいた個々のご回答を開示することはいたしておりませんので、お問い合わせにお答えすることができません。何卒ご了承ください。

Q 14. 自分の記入した回答を訂正したいのだが？

A 14. 申し訳ございません。ご回答は無記名で頂戴しており、お願いをした方がご回答くださったか把握しておりませんし、ご回答下さった方ご本人であることを確認することができません。また、いただいた個々のご回答を開示することはいたしておりませんので、ご依頼におこたえすることができません。何卒ご了承ください。

Q 15. アンケートを他の人に記入させて良いか？

A 15. ご面倒をおかけいたしております。このアンケートは鹿嶋市民の皆様方から無作為に選んだ方にお届けしたものです。ご回答下さった方を特定することはいたしません。お住まいの地域などを考慮してお届けしております。ご事情によりご本人様にご回答いただけない場合は、他の方にお譲りになるなどなさらずそのまま破棄していただきます。なお、ご自身でご記入することが難しいために代筆によりご記入いただくことは差し支えございません。

Q 16. アンケートなど今後このような郵便物を送らないでほしい

A 16. たいへんなご迷惑をおかけいたしております。このアンケートは鹿嶋市民の皆様方から無作為に選んだ方にお届けしたものです。今後アンケートなどが追加で送られることはございません。今回アンケートをお届けした方のご住所などの情報は、当方にて破棄し一切保管いたしておりません。

Q 17. 調査結果を教えてください

A 17. 調査結果につきましては、研究報告書にまとめ市内各所（市図書館等）に寄贈し、市民の皆様方にご覧いただけます。印刷した研究報告書の個別の発送はいたしておりませんのでご了承下さい。なお、報告書の概要と全文は、後日厚生労働科学研究データベース <http://mhlw-grants.niph.go.jp/research/>にて一般に公開され、どなたでもご自由にご覧いただけます。うになります。

「地域の人と人のつながりに関する意識調査」アンケート

以下の質問にお答え下さい。最も当てはまると思われるものをお選びください。該当する数字等を回答用紙の該当欄にご記入下さい。個別の質問へのご回答は任意です。（ご回答を希望されない質問項目については空欄のままご回答下さい。個々の質問についてご回答いただけるかお選びいただけます。）

1. まず、あなたご自身についてお教えください

Q1. 年齢は？

____0代 数字を回答用紙Q1の欄にご記入下さい。

Q2. 性別は？

7. 男
8. 女

Q3. ご結婚されていますか？

7. 配偶者有り（現在夫または妻がいる。事実婚を含む）
8. 配偶者なし

Q4. あなたと配偶者のご職業をそれぞれお答え下さい。当てはまるものを1つ選び、回答用紙の欄にご記入ください。

7. 事務職（一般・営業職など）
8. 販売職（小売店主、販売店員、外交員など）
9. 管理職（課長以上の公務員又は会社社員、会社役員など）
10. 専門的・技術的職業（教員、医師、技術者、作家など）
11. サービス職（美容師、ウエイター・ウエイトレス、タクシー運転手、保安関係従業員など）
12. 現業職（大工、修理工、生産工程作業員など）
13. 農林漁業
14. 主婦・主夫（パートタイム従業者）
15. 主婦・主夫（無職の）
16. 学生
17. 引退（主婦・主夫を除く）
18. 失業（主婦・主夫を除く）
19. その他

Q5. 現在あなたが同居しているご家族の家族形態は、次のどれに当たりますか。

7. 単身
8. 夫婦だけ
9. 夫婦と子供
10. 片親と子供
11. 夫婦と子供と親
12. 夫婦と子供と親と夫婦の兄弟姉妹
13. それ以外（具体的に）

Q6. 現在のあなたの世帯の人数はあなたを含め何人ですか。ここで世帯とは、生計を同一にする人を意味します。

_____人

Q7. あなたとあなたの配偶者が最後に卒業された学校をお答えください。在学中の方は、現在在学している学校をお答えください。当てはまるものを1つ選び、番号をご記入ください。

7. 小中学校 卒業（専修小学校、高等小学校を含む）
8. 高等学校 中退（旧制中学校、女学校、実業学校、師範学校を含む）
9. 高等学校 卒業（旧制中学校、女学校、実業学校、師範学校を含む）（卒業見込みを含む）
10. 短期大学 中退（高専等を含む）
11. 短期大学 卒業（高専等を含む）（卒業見込みを含む）
12. 大学 中退（旧制高校、旧制高等専門学校を含む）
13. 大学 卒業（旧制高校、旧制高等専門学校を含む）（卒業見込みを含む）
14. 大学院修士課程 中退
15. 大学院修士課程 修了（卒業見込みを含む）
16. 大学院博士課程 中退
17. 大学院博士課程 修了（卒業見込みを含む）

Q8. あなたの現在のお住まいの種類は、次のどれに当たりますか。当てはまるものを1つ選び回答用紙の欄にご記入ください。

7. 持家（一戸建て）
8. 持家（集合住宅）
9. 民間の借家（一戸建て、集合住宅）
10. 供給住宅（社宅、公務員住宅）
11. 公営の借家（住宅公団、住宅供給公社、県(市)営住宅など）
12. 借間、下宿
13. 住み込み、香宿舍、独身寮など
14. その他

Q9. あなたは現在までに、どれくらいの年数、鹿嶋市にお住まいですか？ 回答用紙の欄に数字を直接ご記入下さい。

_____年

Q10. あなたの自宅の世帯全体の平成 22 (2010) 年の税込み年間総収入は、ボーナスを含めてどのくらいになりますか。(学生の方はご実家の収入をお答えください。) 以下から最も近いものを 1 つ選んで回答用紙の欄にご記入ください。

- ア. 100 万円未満
- イ. 100～200 万円未満
- ウ. 200～400 万円未満
- エ. 400～600 万円未満
- オ. 600～800 万円未満
- カ. 800～1,000 万円未満
- キ. 1,000～1,200 万円未満
- ク. 1,200～1,400 万円未満
- ケ. 1,400～1,600 万円未満
- コ. 1,600～1,800 万円未満
- サ. 1,800～2,000 万円未満
- シ. 2,000 万円以上

Q11. あなたの現在の生活水準はどの程度だとお考えですか。「もっとも豊か」を 10 点、「もっとも貧しい」を 0 点として、あなたの生活水準は何点くらいになるとお考えですか。
_____点

Q12. あなたの現在の健康状態はどの程度だとお考えですか。「まったく健康である」を 10 点、「とても良くない」を 0 点として、あなたの健康状態は何点くらいになるとお考えですか。
_____点

Q13. あなたは現在、定期的に医療機関にかかっていますか？

- 1. はい
- 2. いいえ

Q14. あなたは、現在の程度幸福だと思えますか。「とても幸せである」を 10 点、「まったく幸せではない」を 0 点として、あなたの幸せの程度は何点くらいになるとお考えですか。
_____点

Q15. あなたは、ご自身の人生の方向を変えてしまうような重要な決定をするだけの力があると思えますか？ 1 を「変えることはまったくできない」、5 を「変えることは完全にできる」とした場合、5 点のうち何点だと思えますか？

- 1点. 変えることはまったくできない
- 2点. 変えることはほとんどできない
- 3点. どちらともいえない
- 4点. 変えることはほとんどできる
- 5点. 変えることは完全にできる

2. つぎに、あなたの所属している集団 (グループ・団体等) についてお答え下さい。

Q16. あなたがご家族のどなたかが加わっているグループ、組織、ネットワーク、団体などについてうかがいます。公的な団体にかぎらず、町内会などの身近な団体、定期的に一緒に集まって何かをしたり話をするような集まりでも構いません。あなたやご家族はそういった団体にいくつ入っていますか？
_____人ついている

Q17. そのうちで、あなたやご家族にとってもっとも重要なものは何ですか？
団体の名前は、_____である

Q18. その団体の仲間の中で、多数派となっている人たちは次のどの点が同じ人たちでしょうか？ 回答用紙の欄に当てはまる数字をご記入下さい。

a. 性別	1) はい
	2) いいえ
b. 年齢層	1) はい
	2) いいえ
c. その他 ()	1) はい
	2) いいえ

Q19. そのメンバーの多くの共通項は？ 回答用紙の欄に当てはまる数字をご記入下さい。

a. 職業	1) はい
	2) いいえ
b. 教育歴や水準	1) はい
	2) いいえ
c. その他 ()	1) はい
	2) いいえ

Q20. その団体は市外の団体と一緒に活動したり交流することはありますか？

- 1. いいえ
- 2. はい、ときどきそうします
- 3. はい、よくそうします

Q21. 最近の、「親友」の数は、およそ何人でしょうか？ ここで親友とは、一緒にいるとくつろげたり、個人的なことを打ち明けられたり、助けを求められることのできる人たちのことを指します。
_____人

Q22. もしもあなたに突然、ちよつとしたお金（給料の1週間分くらい）を借りる必要ができたとしたら、家族や親族以外に、そのお金を進んで提供してくれるような人はどなたかいますか？

1. 必ずいると思う
2. たぶんいると思う
3. わからない
4. たぶんいないと思う
5. 絶対にいないと思う

Q23. 一般論として、多くの人は信用できるものだと思いますか？ それとも他人と付き合う際にはいくらか慎重にしてもしすぎというのではないと思いますか？

1. 人は信用できるものである
2. いくらか慎重にしてもしすぎというのではない

Q24. 一般論として、次の文章に書かれたことには賛成されますか？

a. この市に住む人たちの多くは、私が助けを求めれば喜んで助けてくれると思う

1. まったくそう思う
 2. ややそう思う
 3. どちらともいえない
 4. ややそうとは思わない
 5. まったくそうとは思わない
- b. この市では、警戒していないと誰かが私に付け込もうとする
1. まったくそう思う
 2. ややそう思う
 3. どちらともいえない
 4. ややそうとは思わない
 5. まったくそうとは思わない

Q25. あなたは、次の人物をどの程度信用していますか？

a. 市役所の職員	1) とても信用している 2) かなり信用している 3) どちらともいえない 4) 少しだけ信用している 5) ほんの少しだけ信用している
b. 国の職員	1) とても信用している 2) かなり信用している 3) どちらともいえない 4) 少しだけ信用している 5) ほんの少しだけ信用している

Q26. あなたが、過去半年の間に、あなたにとって重要なことを相談した人を5人まで思い出してください。5人より少なかった場合は、すべての方についておたずねします。

Aさん, Bさん, Cさん, Dさん, Eさん, Eさんとして質問します。

それでは、AさんからEさんまでの5人（5人より少なかった場合は、すべての方）について回答用紙は以下のようになっています。回答用紙の各欄の当てはまるカナ、アルファベットに○をつけてください。

回答用紙は以下のようになっています。回答用紙の各欄の当てはまるカナ、アルファベットに○をつけてください。

人物	1) どのような人か？	2) 学歴	3) 会うか？	4) 知り合いか？
A	アイウエオカキクケココサシ	アイウエオカキクケココサシ	アイウエオ	B C D E
B	アイウエオカキクケココサシ	アイウエオカキクケココサシ	アイウエオ	A C D E
C	アイウエオカキクケココサシ	アイウエオカキクケココサシ	アイウエオ	A B D E
D	アイウエオカキクケココサシ	アイウエオカキクケココサシ	アイウエオ	A B C E
E	アイウエオカキクケココサシ	アイウエオカキクケココサシ	アイウエオ	A B C D

1) その人は、あなたから見るとどのような人ですか？ AさんからEさんまでの5人（5人より少なかった場合は、すべての方）についてお答えください。

7. 配偶者

イ. 親

ウ. 兄弟姉妹

エ. 子ども

オ. その他の血縁者

カ. 同じ職場の人

キ. Q17でお答えになった団体のメンバー

ク. キ以外の団体のメンバー

コ. 隣近所の人

ク. 友人

サ. アドバイザー（専門的な立場から助言をする人）

シ. その他

2) その人の学歴をご存知ですか？ AさんからEさんまでの5人（5人より少なかった場合は、すべての方）についてお答えください。

- 7. 小中学校 卒業（尋常小学校、高等小学校を含む）
- 8. 高等学校 中退（旧制中学校、女学校、実業学校、師範学校を含む）
- 9. 高等学校 卒業（旧制中学校、女学校、実業学校、師範学校を含む）（卒業見込みを含む）
- ア. 短期大学 中退（高専等を含む）
- イ. 短期大学 卒業（高専等を含む）（卒業見込みを含む）
- ウ. 大学 中退（旧制高校、旧制高等専門学校を含む）
- エ. 大学 卒業（旧制高校、旧制高等専門学校を含む）（卒業見込みを含む）
- オ. 大学院修士課程 中退
- カ. 大学院修士課程 修了（卒業見込みを含む）
- キ. 大学院博士課程 中退
- ク. 大学院博士課程 修了（卒業見込みを含む）
- コ. わからない

3) その人とはふだんどの程度お会いになりますか？ AさんからEさんまでの5人（5人より少なかった場合は、すべての方）についてお答えください。

- 7. ほとんど毎日
- 8. 少なくとも週に一回
- 9. 少なくとも月に一回
- ア. 一月に一回以下
- イ. わからない

4) その人は、その他の4人と知り合いですか？ 知り合いの人について、○を付けてください。 AさんからEさんまでの5人（5人より少なかった場合は、すべての方）についてお答えください。

- 3. あなたが現在お住まいの鹿嶋市についてうかがいます。
Q27. あなたはこの1年間に、市役所の本庁へ行つたことがありますか？
 1. はい（→Q28.へお進み下さい）
 2. いいえ
- Q28.** あなたはこの1年間に何回市役所へ行きましたか？
 7. ____回くらい（→Q27.の欄に1とご記入の上、数字をこの欄にご記入下さい）
 8. おぼえていない

Q29. あなたのご家庭では現在お住まいの鹿嶋市が実施する（窓口事務の取り扱いを含む）行政サービスについて、この1年間に次のうちどれを利用しましたか？ 利用したものをすべてをお選び下さい。回答用紙の欄にカナを直接ご記入下さい。

- 7. 諸証明（住民票、戸籍、所得等）
- 8. 住民健診、がん検診
- 9. 国民健康保険
- ア. 国民年金
- イ. 各種障害者手帳
- ウ. 保育（保育所・幼稚園）
- エ. 義務教育（小中学校）
- オ. 子ども手当
- カ. 健康相談
- キ. 心配ごとや生活保護の相談
- ク. 介護の相談（社会福祉協議会）
- コ. その他（ ）（→Q29.の右端の欄に具体的にご記入下さい）
- サ. 利用していない

Q30. Q29.のうち、もっとも利用したものを5つを選び、それぞれについて、どの程度満足したかお答え下さい。「とても満足している」を10点、「まったく満足していない」を0点として、あなたの満足の程度は何点くらいになると思いますか。回答用紙のサービシに○をつけて点数をご記入下さい。

サービス	満足度
アイウエオカキククココサシ	点
アイウエオカキククココサシ	点
アイウエオカキククココサシ	点
アイウエオカキククココサシ	点
アイウエオカキククココサシ	点

Q31. あなたが現在お住まいの鹿嶋市でこの1年間に開催された次の催し物（大会、イベント等）に参加されましたか？ また、その催し物には、**Q26.**でお答えいただいた、「過去半年の間に、あなたがとって重要なことを話しあった人」は参加していましたか？ 当てはまる人すべてをお選び下さい。回答用紙に参加の有無を、○をつけてお答え下さい。

催し物	あなたは参加されましたか？	Q26.でお答えになった方のうち、参加した方
ア 祭頭祭・神幸祭	1.した 2.していない	A B C D E
イ かしま桜祭	1.した 2.していない	A B C D E
ウ 公民館まつり	1.した 2.していない	A B C D E
エ 鹿嶋市花火大会	1.した 2.していない	A B C D E
オ 鹿嶋まつり	1.した 2.していない	A B C D E

Q32. この1年間で、あなたかご家族のどなたかは、何か地域のためになる活動をする目的で住民が集まるような場に参加しましたか？

1. はい (→回答用紙の欄に1とご記入後、Q33へお進み下さい)
2. いいえ (→回答用紙の欄に2とご記入後、Q35へお進み下さい)

Q33. Q32で「はい」と答えた方にうかがいます。それはこの1年間で何回でしたか？
_____回

Q34. Q32で「はい」と答えた方にうかがいます。その場には、Q26でお答えいただいた、「過去半年の間に、あなたにとって重要なことを話しあった人」は参加していましたか？ 当てはまる人すべてをお選び下さい。

回答用紙のABCDEのうち当てはまる人のアルファベットに○をつけてください。

Q35. もし、この地域で大地震による災害のような事態が起きたとしたら、地域の人たちは問題を解決しようとして協力すると思いますか？

1. とてもそう思う
2. ある程度そう思う
3. どちらともいえない
4. ある程度そうは思わない
5. まったくそうは思わない

Q36. 地域で計画されていることが、もしもあなた自身の利益にはならなくても多くの市民の利益になるとしたら、その計画のためにあなた自身の時間やお金を提供しますか？ 回答用紙の欄にそれぞれ当てはまる数字をご記入下さい。

a. 時間	1. 提供しないと思う 2. 提供すると思う
b. お金	1. 提供しないと思う 2. 提供すると思う

Q37. この1ヶ月間に、あなたは通話のために電話(携帯電話を含む)を何回ぐらい使いましたか？
回答用紙の欄に直接数字をご記入下さい。(およその数字で結構です)

_____回

Q38. 雇用問題、保健医療、農政など、政府が計画していることについて、あなたはどこから情報を得ていますか？ 主なものを3つまで選んでください。

1. 親戚、友人、近所の人
2. 地域の掲示板
3. 地域の市場や商店街
4. タウン誌、地域の新聞
5. 全国紙(新聞)
6. ラジオ
7. テレビ
8. グループや団体
9. 仕事仲間
10. 政治的な仲間
11. 地域の代表者(自治会長など)
12. 政府機関
13. 非政府組織(NGO)、非営利団体(NPO)
14. インターネット

Q39. 同じ市に暮らす人々の間にもさまざまな違いがあるものです。たとえば、経済状態、社会的な地位、国籍などです。信仰、政治的思想、年齢、性別でも違いがあるでしょう。あなたがお住まいの市では、そんな違いほどの程度特徴がありますか？ 1点を「違いはとて大きい」、5点を「違いはとて小さい」としたとき5点のうちで何点だと思えますか？

- 1点. 違いはとて大きい
- 2点. 違いは大きい
- 3点. どちらともいえない
- 4点. 違いは小さい
- 5点. 違いはとて小さい

Q40. この違いのために何か問題が起きていますか？

1. はい (→回答用紙の欄に1とご記入後、Q41、Q42へお進み下さい)
2. いいえ (→回答用紙の欄に2とご記入後、Q41、Q42へお進み下さい)

Q41. よく問題を起こしているのは、次のうちのどの「違い」でしょうか？ 2つまで選んでください。

1. 教育の程度の違い
2. 土地の所有の違い
3. 経済状態、動産の所有の違い
4. 社会的な地位の違い
5. 男性と女性の違い
6. 若者と年配層の世代の違い
7. 元から住んでいた人と新たに住み始めた人の違い
8. 支持する政党の違い
9. 宗教的な信仰の違い
10. 国籍や民族などの違い
11. そのほかの違い

Q42. それらの問題は暴力を振るうような事態にまで至りましたか？

1. はい
2. いいえ

Q43. この1ヶ月の間に、あなたは誰か家族以外の人と、飲食（家での食事も含みます）を共にしたことがありますか？

1. はい 何回ですか？ ____回 （→回答用紙に1と数値をご記入後、Q44へお進み下さい）
2. いいえ （→回答用紙の欄に2とご記入後、Q45へお進み下さい）

Q44. Q43で1.「はい」を選んだ方がいらっしゃいます。その相手とはどんな方でしたか？ a.からd.のそれぞれについて当てはまる数字を回答用紙の欄にご記入下さい。

a.国籍や民族などの異なる人	1) はい
	2) いいえ
b.経済的な状態の異なる人	1) はい
	2) いいえ
c.社会的な地位の異なる人	1) はい
	2) いいえ
d.信仰の異なる人	1) はい
	2) いいえ

Q45. 全体的に見て、あなたが一人で家にいるとき、犯罪からはどの程度安全だと思いますか？

1. とても安全である
2. かなり安全である
3. どちらともいえない
4. かなり安全ではない
5. とても安全ではない

Q46. この1年間に、この市に暮らす住民は、地域社会の利益になるような公共の人物を決めるようなことを何回ぐらいいっしょに行いましたか？（例：市長や市議会議員の選挙、自治会長を決める選挙や話し合いなど）

1. 一度もしなかった
2. 1度だけした
3. 少しだけした（2～4回）
4. 何回もした（5回以上）

Q47. ささまざまな事情から、投票所などに行って投票をすることが難しいという人は多いです。あなたにはさきの選挙（平成22年度参議院議員選挙）の投票に行きましたか？

1. はい
2. いいえ

Q48. あなたが現在お住まいの鹿嶋市について、より暮らしやすい街にするために必要と思われることをお教え下さい（自由記述）

ありがとうございます。質問は以上です。ご回答にご記入漏れや誤りがないかご確認ください。宜しければ回答用紙（色のついた厚紙）のみを同封の返信用封筒にてご返送ください。（切手は不要です）

資料 12

I. アンケート調査結果 (三鷹市)

平成 22 年 10 月 1 日現在の住民基本台帳より市民 1,000 人を選定した。
 合計 1,000 通を郵送し、あて先不明により 4 通が返送された。
 回答総数 141 件であり、回答回収率は (141/996) 14.2%であった。

表 1 : アンケートの配布数

地区名	(単位:人)									
	年代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	比率
下連雀 1~9 丁目	必要数*	16.3%	20.6%	18.7%	13.5%	14.2%	10.2%	5.4%	1.1%	
下連雀 1~9 丁目	配布数	38	48	44	32	33	24	13	3	
牟礼 1~7 丁目	235	38	48	44	32	33	24	13	3	
井の頭 1~5 丁目	110	19	23	20	15	15	11	6	1	
井の頭 1~5 丁目	88	14	18	16	12	12	9	5	1	
井の頭 1~5 丁目	90	15	19	16	13	12	9	5	1	
中原 1~4 丁目	79	13	16	15	11	11	8	4	1	
中原 1~4 丁目	79	13	16	15	11	11	8	4	1	
北野 1~4 丁目	45	7	9	8	6	6	5	2	1	
北野 1~4 丁目	46	7	10	8	6	7	5	2	1	
新川 1~6 丁目	88	14	18	16	12	12	9	5	1	
新川 1~6 丁目	88	14	18	16	13	12	9	5	1	
上連雀 1~9 丁目	142	23	29	27	19	20	14	8	2	
上連雀 1~9 丁目	142	23	29	27	19	20	14	8	2	
井口 1~5 丁目	66	11	14	12	9	9	7	4	1	
井口 1~5 丁目	66	10	14	12	9	9	7	4	1	
深大寺 1~3 丁目	44	7	9	8	6	6	4	2	0	
深大寺 1~3 丁目	42	7	9	8	6	6	4	2	0	
野崎 1~4 丁目	34	6	7	6	5	5	3	2	0	
野崎 1~4 丁目	33	6	7	5	5	5	3	2	0	
大沢 1~6 丁目	71	12	15	13	10	10	7	4	1	
大沢 1~6 丁目	69	12	15	10	10	10	7	4	1	

*表中の数字は計算により求めた数値を四捨五入した値のため合計は1,000とならない。

Q1.Q2. あなたの年齢および性別は？

三鷹市の人口の構成 (表 1) をみると 30 歳代の比率が高いが、回答者の比率では 40 歳代、60 歳代の回答が多かった。男女比について、年齢による偏りはなかった。

表 2 : 回答者の年齢と性別の構成

年齢	性別		合計(人)
	男性	女性	
20代	2	7	9
30代	8	15	23
40代	15	14	29
50代	8	13	21
60代	16	12	28
70代	10	12	22
80代	5	4	9
合計	64	77	141

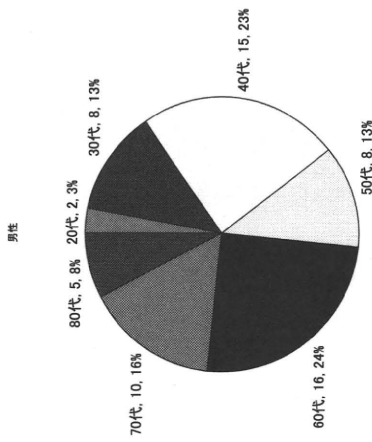


図 1 : 回答者の年齢構成比 (男性)

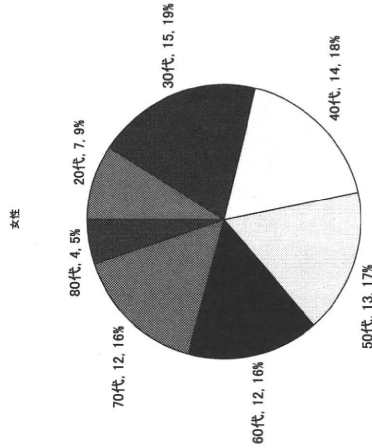


図 2 : 回答者の年齢構成比 (女性)

Q3. ご結婚されていますか？

配偶者があると回答したのは回答者の 78.8%であった。年齢による分布の偏りはなかった。

表 3 : 配偶者の有無

	年齢 (単位:人)							
	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
配偶者有り	4	15	25	19	26	16	6	111
配偶者なし	5	8	4	2	2	6	3	30
合計 (人)	9	23	29	21	28	22	9	141

女性	44.6	5.8	1.7	12	38	56	0	45	45
80代男性	63.4	17.5	7.8	5	38	83	0	65	.
女性	41.3	19.0	9.5	4	15	58	0	46	.

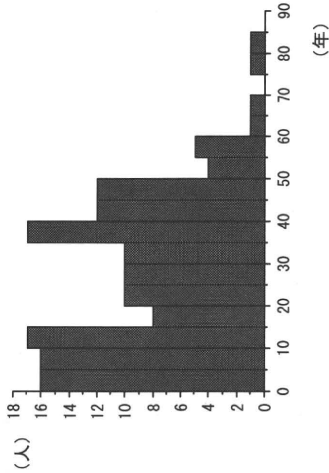


図3：居住年数の分布

Q10. あなたのお宅の世帯全体の平成22(2010)年の税込年間総収入は、ボーナスを含めてどのくらいになりますか。

400～600万円未満、600～800万円未満の順に多かった。70歳代の400～600万円未満、60歳代の600～800万円未満の回答者が多かった。

表12：回答者の年収

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計	
100万円未満	1	0	1	1	0	1	1	5	3.7%
100～200万円未満	0	0	0	1	2	2	0	5	3.7%
200～400万円未満	2	2	3	0	6	5	2	20	14.9%
400～600万円未満	1	4	1	5	5	11	1	28	20.9%
600～800万円未満	3	5	5	2	7	2	1	25	18.7%
800～1,000万円未満	1	6	4	2	4	1	2	20	14.9%
1,000～1,200万円未満	0	2	4	2	0	0	0	8	6.0%
1,200～1,400万円未満	0	1	2	2	2	0	0	7	5.2%
1,400～1,600万円未満	0	0	3	0	0	0	0	3	2.2%
1,600～1,800万円未満	0	1	2	1	0	0	0	4	3.0%
1,800～2,000万円未満	0	0	2	0	0	0	0	2	1.5%
2,000万円以上	0	1	0	4	1	0	1	7	5.2%
合計	8	22	27	20	27	22	8	134	

Q11. あなたの現在の生活水準はどの程度だとお考えですか。「もっとも豊か」を10点、「もっとも貧しい」を0点として、あなたの生活水準は何点くらいになりますか。

全体の平均は5.9点で、80歳代の男性、60歳代の女性、70歳代の女性は評価が低かった。

表13：豊かさの自己評価 (単位：点)

	平均値(点)	標準偏差	標準偏差	標準誤差	例数	最小値	最大値	欠測値の数	中央値	最頻値
合計	5.9	1.8	0.1	140	0	10	1	6	7	
20代	5.3	2.2	0.7	9	0	8	0	6	6	
30代	6.1	1.7	0.4	22	2	9	1	6	6	
40代	6.3	1.4	0.3	29	3	9	0	7	7	
50代	6.8	1.2	0.3	21	5	9	0	7	7	
60代	5.4	1.6	0.3	28	2	8	0	6	6	
70代	5.4	2	0.4	22	0	8	0	5.5	5	
80代	6.1	2.5	0.8	9	1	10	0	7	7	

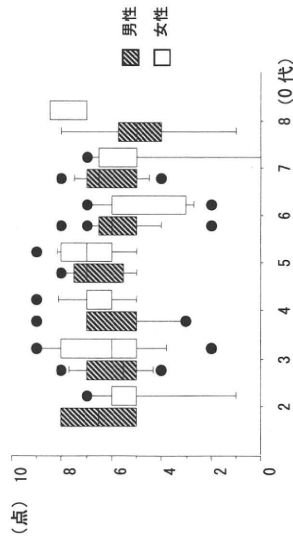


図4：豊かさの自己評価の得点分布 (年齢×性別)

Q12. あなたの現在の健康状態はどの程度だとお考えですか。「まったく健康である」を10点、「とても良くない」を0点として、あなたの健康状態は何点くらいになりますか。

全体の平均は7.1点で、とくに女性において年齢の高い層で点が低かった。

表14：健康度の自己評価 (単位：点)

	平均値(点)	標準偏差	標準誤差	例数	最小値	最大値	欠測値の数	中央値	最頻値
合計	7.1	2.0	0.2	140	0	10	1	8	8
20代	6.3	2.2	0.7	9	3	9	0	7	.
30代	7.3	1.9	0.4	22	3	10	1	7	7
40代	7.4	1.9	0.3	29	3	10	0	8	8
50代	7.2	2.2	0.5	21	2	10	0	8	9
60代	7.1	1.8	0.3	28	1	9	0	8	8
70代	7.0	1.9	0.4	22	3	10	0	7	.
80代	6.2	2.8	0.9	9	0	10	0	7	.

Q14. あなたは、現在のどの程度幸福だと思いますか。「とても幸せである」を10点、「まったく幸せではない」を0点として、あなたの幸せの程度は何点くらいになりますか。

全体の平均は7.4点で、80歳代の男性で低い評価であった。

表16：幸福度の自己評価

	平均	標準偏差	標準誤差	例数	最小値	最大値	欠測値の数	中央値	最頻値
合計	7.4	1.8	0.2	140	2	10	1	8	8
20代男性	4.0	1.4	1.0	2	3	5	0	4	.
女性	7.1	1.3	0.5	7	5	9	0	7	.
30代男性	7.3	1.0	0.4	8	5	8	0	7.5	8
女性	7.8	1.8	0.5	14	4	10	1	8	9
40代男性	7.0	2.0	0.5	15	3	10	0	7	9
女性	7.9	1.3	0.4	14	5	10	0	8	8
50代男性	7.3	1.5	0.5	8	5	10	0	7	7
女性	8.1	2.0	0.6	13	3	10	0	8	10
60代男性	6.8	2.1	0.5	16	2	10	0	6.5	6
女性	6.8	2.0	0.6	12	2	9	0	7.5	8
70代男性	8.0	0.8	0.3	10	7	10	0	8	8
女性	8.0	1.8	0.5	12	5	10	0	8	.
80代男性	6.4	2.9	1.3	5	2	9	0	8	8
女性	8.0	2.2	1.1	4	5	10	0	8.5	.

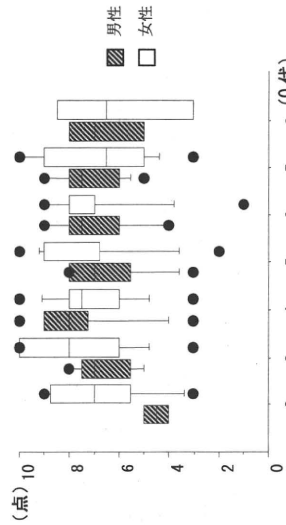


図5：健康度の自己評価の得点分布（年齢×性別）

Q13. あなたは現在、定期的に医療機関にかかっていますか？
 回答者のうち医療機関にかかっている人は53.2%あり、80歳代の回答者は全員が医療機関にかかっている。現在、医療機関にかかっている女性では、健康度の評価が最も高かった。

表15：医療の利用状況（単位：人）

	はい	いいえ	合計
20代	4	5	9
30代	8	15	23
40代	8	21	29
50代	12	9	21
60代	17	11	28
70代	17	5	22
80代	9	0	9
合計	75	66	141
	53.2%	46.8%	

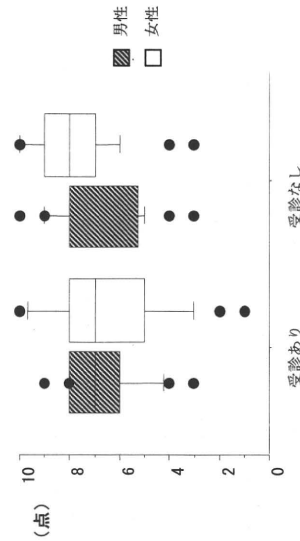


図6：健康度の自己評価（受診の有無×性別）

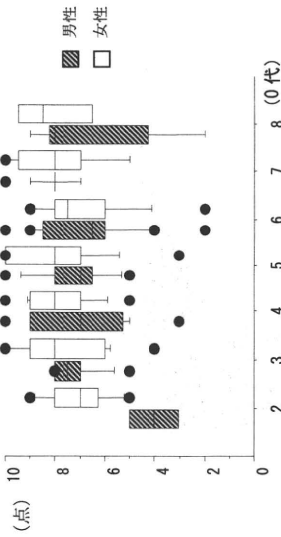


図7：幸福度の自己評価（年齢×性別）

Q15. あなたは、ご自身の人生の方向を変えてしまうような重要な決定をするだけの力があると思いますか？ 1を「変えることはまったくできない」、5を「完全にコントロールできる」とした場合、5点のうち何点だと思いますか？

全体の平均は3.3点で、80歳代では評点が低かった。

表 17：人生を変える決断力 (単位：点)

	平均	標準偏差	標準誤差	例数	最小値	最大値	欠測値の数の数	中央値	最頻値
合計	3.3	0.9	0.1	139	1	5	2	3	3
20代男性	3.0	0.0	0.0	2	3	3	0	3	3
女性	3.1	0.9	0.3	7	2	4	0	3	4
30代男性	3.5	0.8	0.3	8	3	5	0	3	3
女性	3.8	0.9	0.2	15	2	5	0	4	4
40代男性	3.8	0.6	0.1	15	3	5	0	4	4
女性	3.0	1.0	0.3	14	1	5	0	3	3
50代男性	3.1	0.9	0.3	7	2	5	1	3	3
女性	3.6	0.9	0.2	13	2	5	0	4	4
60代男性	3.1	1.0	0.2	16	1	5	0	3	3
女性	3.0	1.0	0.3	12	1	4	0	3	4
70代男性	3.4	0.8	0.3	10	2	5	0	3	3
女性	3.3	1.2	0.4	12	1	5	0	3	3
80代男性	2.6	0.5	0.2	5	2	3	0	3	3
女性	2.0	1.0	0.6	3	1	3	1	2	.

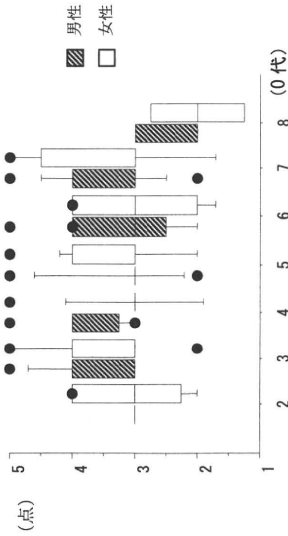


図 8：人生を変える決断力 (年齢×性別)

Q16. あなたがご家族のどなたかが加わっているグループ、組織、ネットワーク、団体などについてうかがいます。あなたやご家族はそういった団体にいくつ入っていますか？

全体の平均は2.6個で、分布を見ると、無回答をのぞいて所属する団体がないと回答したものが32人、1個と回答したものが23人、3個と回答したものが22人あった。年齢と性別で見ると、男性は年齢が高い層では団体数が多く、女性は40歳代で最も多く80歳代では少なかった。

表 18：所属する団体の数 (単位：個)

	平均	標準偏差	標準誤差	例数	最小値	最大値	欠測値の数の数	中央値	最頻値
合計	2.6	2.7	0.2	127	0	15	14	2	0

男性	2.9	2.6	0.3	60	0	9	4	3	0
女性	2.3	2.7	0.3	67	0	15	10	2	0

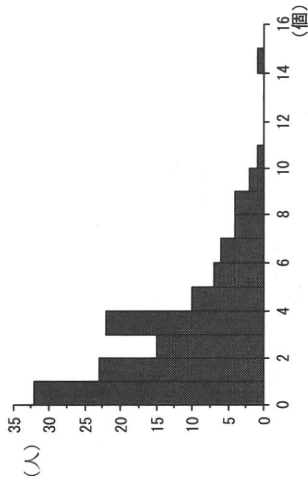


図 9：所属する団体の数の分布

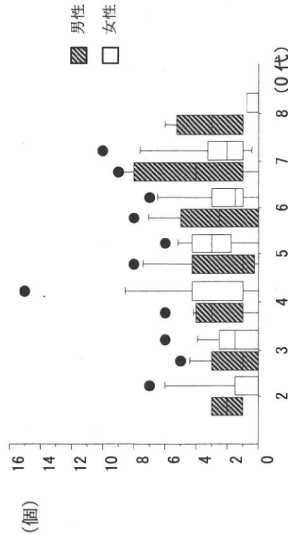


図 10：所属する団体の数 (年齢×性別)

Q17. そのうちで、あなたやご家族にとってもっとも重要なものは何ですか？
 スポーツを行う団体、趣味を同じくするものの団体をあげた回答が多かった。
 表 19：回答者にとってもっとも重要な所属団体 (回答は調査実施者により分類)

スポーツ関係 (チーム、クラブ等)	11
趣味を同じくする集まり	5
宗教関係	4
勤務先	3
同窓生	2
子ども同士が同じ園・学校	2